

2026 年 8 月 7 日

ガスエンジンコージェネレーションシステムの更新完了

エネルギー供給の安定性向上と環境負荷低減に貢献

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 松本尚武、以下「静岡ガス」）のグループ会社で、工場設備の工事や設備保全などを手がける静岡ガス・エンジニアリング株式会社（代表取締役 取締役社長 大川信二、以下「静岡ガス・エンジニアリング」）は、TENTOK 株式会社（代表取締役 金子武正、以下「TENTOK」）本社工場において、ガスエンジンコージェネレーションシステム（以下「CGS」）の更新工事を完了し、2026 年 8 月 6 日に竣工式を開催しました。



▲竣工式の様子

静岡ガスは TENTOK 本社工場において、2005 年 1 月よりエネルギーサービスを提供しておりました。本エネルギーサービスでは、工場内に当社が CGS を設置し、最適運用を通じて電気と蒸気を供給しています。このたび、設備の経年化にともない既設 CGS を最新設備へ更新するとともに、新たに静岡ガス・エンジニアリングがエネルギーサービスの提供主体を担います。今回の設備更新により、エネルギー供給の安定性向上と環境負荷低減（既設 CGS と比較して年間 CO₂ 排出量を約 4 %削減）を図るとともに、長期的な設備運用基盤の強化を実現します。

竣工式には、TENTOK および関係者が出席し、設備の完成を祝うとともに、今後の安全・安定運転を祈念しました。

静岡ガスグループは今後も、エネルギーサービス事業を通じてお客さまのエネルギー利用の最適化とカーボンニュートラル化の実現に貢献してまいります。

【エネルギーサービス概要】

事業者	TENTOK、静岡ガス・エンジニアリング
設置場所	TENTOK 本社工場内（静岡県富士市天間 264 番地）
発電出力	5,100 kW
発生蒸気量	2.9 t/h
メーカー	三菱重工エンジン & ターボチャージャ株式会社

以上